

令和7年度 学校評価の取り組み報告

～ダイジェスト版～



【今年度の取り組み状況】

夏1回目実施

<7月の自己点検・自己評価の集計・分析結果>

Ⅶ「保育のあり方、3歳未満児への対応」保育者同士の協力・連携

「3歳未満児担当保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいる保育者が適切な言葉かけや対応をするよう確認している」の評価が指導的立場と一般職員両方が低かった。3歳未満児クラスは担当する職員数が多く、また保育者の勤務時間も多岐にわたるため、情報共有のむずかしさが課題に挙がった。そこで、「情報共有」について話し合うこととした。

○グループディスカッションを通して

- ・それぞれの立場から振り返り「なぜ情報共有が必要なのか」について考えを話した。→情報共有することで子どもの成長のために携わる周りの大人が連携する必要があることはもちろん、子どもや保護者との信頼関係やクラス運営、職員の関係づくりの為にも必要であることを再認識した
- ・お迎え時に必ず伝える必要がある事として【怪我の報告・謝罪】【嘔吐や下痢の処理で出た衣類の持ち帰り】は口頭で伝える。また、【着替えの報告(排泄の失敗等)】【持ち物の持参依頼】についてはアプリを用いて伝えることを再確認した。また、多くの職員が関わる中で伝達漏れが起きないように必要な対策を考えた
- ・日常的な情報共有を確実に行う為のポイントとして《子どもが落ち着いている時に行う(おやつや食事中に全員が着席しているタイミング等)》《毎日同じ時間に行う》《口頭ではなく、紙面に残して伝える》を確認した。また、“些細なこととは思わず、どんな事も自分から発信する”という職員の意識も重要であることに気づいた

改善策

①担任が休みなどで代替え職員に保育をお願いする際、必要な情報をまとめるシートを作成し周知する。

②保育者から保護者への連絡事項を確実に伝える為にすること

朝：ルクミーアプリの概要欄に記入済みの個人(子ども)の連絡事項を見終わったら、申し送り欄に自分(保育者)の名前と確認した時間を入力する。3歳以上児は玄関担当から担任への引き継ぎのタイミングで行い、未満児クラスは各職員が出勤後、保育に入る前のタイミングで行う。

ぬくもり保育の時間：各クラスのチェックシートの様式を変更する。連絡を受けた人(記入者)、その情報を共有した相手や時間、保護者に実際に伝えた人が誰かが分かるようにチェック欄を設ける。

③振り返りで共有すべき最低限の内容についてリスト化してみる

(振り返り時間の目安として使用)



冬2回目実施

<12月の自己点検・自己評価の集計・分析結果>

I「保育の計画性」

自己点検自己評価をまとめて分析した結果、I「保育の計画性」②「園の方針や園長の考え方について園長や教頭、主幹保育教諭と話し合い保護者に説明できる」という項目の評価が低く、『考え方や方針を細かく話し合ったりする機会が無く、自信を持って説明することが難しい』という具体例を挙げている職員が多くいた。

園の教育方針や教育目標、園長の考え方について改めて聞く機会を作り、保護者に説明する自信を持つと共に、そのポイントを整理する事で具体的な保育内容や子どもたちの姿と関連付け日々の保育の計画→実践→振り返りに繋がられるようにする為にグループディスカッションを行った。

○グループディスカッションを通して

園長より園の教育理念および教育方針について説明を受けた。まず説明の対象として、どのような相手を想定するかについて話し合った。その結果、「本園への入園を検討している保護者」対象の説明を想定し、GDを進めていくこととした。

改善策

園の教育理念・教育方針を説明する例文を作成し、毎年年度始めの職員会議で周知する。

また、園の教育方針などの説明の際は子どもと保護者にとって良い部分ばかりを伝えて魅力を発信しがちだが、時には大変な思いをする事も必要だという事、でもそれは長い目で見た“幸せ”に繋がっていく事をポイントとして伝えていく。

【学校関係者の評価】

・今の時代企業も同じだが、働いている人の人生設計をどうしていくのかという部分を考えている企業が残っている。園でも小さい子の未来を考えながら作って行く責任をみんなで共有しているということに驚いている。それを毎年続けて行くということがこの先残っていく園なんだなと思った

・卒園式の様子を見て、「さすがさくら組だな！」と思うくらい立派だった。団結力があるクラスだなと感じた

・グループディスカッションのテーマがとても深いことに感動した。こんな話を職員全体で話せる集団であるということは先生達の力があるのだなと感じた。小学校勤務時代に教育目標について職員間で話し合ったことがあるが、ここまで話すことはできなかった。短い時間の中で小集団がそれぞれ話し合ったことがまとめられており、それを保護者をこういう説明をしよう文章を考えたことは素晴らしい。先生方それぞれの考えを出し合ったことをまとめたことが今回の資料となっており、金城幼稚園が目指すものはこれだ！ととても分かりやすくまとめられていた。

・今回のまとめをもう少し膨らませるとしたら、前段に“幸せな状態と幸せの感情について”を入れて、後段に“アタッチメントと安心の輪”を入れて組み合わせると3グループの良い所を伝えられるようになると感じた

・園の経営方針について話し合うことは自分達がやっていることがどこへ繋がっているのかを考えることで自分のものになるのだと思う。職員の一体感が生まれたり職員のベクトルを同じ方向に向けられるようになるなど素晴らしいと感じる。それだけでも良いのに、さらに保護者にどう伝えていけば良いのかという部分まで掘り下げていることが素晴らしい。学校でも参考にしていきたい

・自己点検・自己評価の取り組みを単年度だけではなく、積み重ねてきた年数分のダイジェスト版を読むだけでも園が大切にしている取り組みがよく伝わってくる。地域の方や採用された職員に読んでもらうことも園の理解に繋がるのではと感じた